

求人特集

みなと舎の 看護スタッフ

インタビュー



福祉×医療×みなと舎

みなと舎は、スタッフ約200名のうち44名が看護スタッフ。福祉施設と病院の機能を持ち合わせた医療があり、みなと舎ならではの看護スタッフの働き方があります。



看護師歴2年 岩崎陽菜さん

Q1. みなと舎就職のきっかけは？

看護学校卒業後、他の病院を経て、みなと舎の体験に参加しました。スタッフの方々と直接メンバーさんの支援に関わり、メンバーさんの屈託のない笑顔に元気をもらいました。またスタッフの方々はメンバーさんとの関わりが丁寧で、楽しそうに働いているのが印象的で、一緒に働きたいと思いました。

Q2. 入職して2年たった現在の心境は？

楽しく好奇心を持ちながら働いています。痛みや感情を読み取りにくい方や体が変形してる方など、応用看護が多いので、基礎の大切さや、フィジカルアセスメントの難しさを痛感しています。私が困っていると、先輩方が方向性を導いて下さいます。今後の目標は、メンバーさんにとっての5年後・10年後の未来を見据えた看護が出来るようになる事です。

看護師歴20年 石渡和夏子さん

Q1. 看護スタッフの仕事内容は？

人工呼吸器を装着したメンバーさんのケア、気管切開の管理、吸引や吸入、酸素療法といった呼吸ケアが中心となります。経管栄養が必要なメンバーさんも入所しているため胃ろうからのミキサー食注入なども行っています。昼夜医師が院内にいますので、体調の変化がある時などすぐに相談もできるので心強いです。

Q2. メンバーさんとの印象的なエピソードは？

入職して9年、さまざまな出会いと思い出がたくさんあります。印象的なのは、成人を迎えたメンバーさんの振袖姿の写真を森戸神社に撮りに行った事です。スタッフが協力して着付けやヘアセットなどの撮影の準備をして、御家族も出席して下さり、とても温かい素敵な時間になりました。今後はメンバーさんとのバス旅行なども予定しています。



看護支援部長
小島陽子さん

メンバーさんとの特別な看護のカタチ

みなと舎入職前の看護スタッフの職場は、手術室、ICU、外科や内科などの病棟、クリニック、訪問看護など皆それぞれ違います。看護師として自分が何を大切にしてきたか、ここに来ると明確になると思います。メンバーさんに対して数値だけでは図れない体調の変化、教科書には載っていない病状の変化、最期の最後まで生きぬく力を見た時、看護師としてというより同じ人として、その人生を共に過ごさせて頂いた事にただ感謝する、そんな事を感じられる看護がここにはあります。

看護スタッフに興味のある方はこちら

おしごと見学会 就職説明会

9/13(金)・23(月・祝)

10/2(水)・14(月・祝)

30(水)



見学会の申込は二次元コードまたはお電話で

重症心身障害児者(メンバーさん)と愉快な仲間たち

みなと舎物語

第45回

社会福祉法人
みなと舎

☎046(855)3911

生活介護事業、医療型障害児者施設など15の事業を展開中。

